

公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第134号 2025年3月14日 発行



2024年度の振り返りと2025年度に向けて

公益社団法人 石川県作業療法士会 副会長 桂 靖典
(木島病院)

2024年度は皆様にとってどのような年であったでしょうか？私は1月から始まった被災地支援のJRAT活動も4月には終盤を迎え、地域リハへの移行準備を行っていたと記憶している。今、能登は復旧が進む中、石川県リハビリテーションセンターが中心となり、能登各地の中核病院の作業療法士と協働し、仮設住宅などでの通いの場を作るなど地域リハビリへ移行している最中である。当士会も県より協力を求められた時に対応できるように準備を進めている。まだまだ復旧までの道のりは長いと予想されるが、能登の方々の生活が復興することを願ってやまない。

そして春から秋頃にかけては石川県にて開催される第23回東海北陸作業療法学会に向け、学会事務局長を拝命し東奔西走していた。2日間で約550名の参加があり多くの作業療法士が研鑽を積むことができたと思う。また通常の講演や発表のみでなく、震災ブースや機器展示会に加え全国でも珍しい学生セッションを開催し、日本作業療法士協会の山本協会長と学生の質疑もあり、非常に充実した内容であったと自負している。事前準備や当日の運営など多くの県士会員の力を借り盛況に学会を開催できたことはとても良い思い出である。次に当士会が主催になるのは2031年の予定である。その折にも、是非とも多くの会員の力をお貸し頂きたい。

ここからは次年度の卒後教育の内容である。2025年4月1日より新たな生涯学修制度が始まる。この制

度は2025年度以降の新たな作業療法士全員が対象となる。新卒者がまず概ね2年間を目途に前期研修を、その後の3年間で後期研修の修了を目指す。前期研修はeラーニングでの講義と実地研修から構成されている。講義は3つの領域がありA領域は「作業療法士基礎力」、B領域は「作業療法分野横断的基礎力」、C領域は「作業療法分野特異的専門力」である。3領域で70コンテンツあり内容も非常に充実したものとなっている。実地研修は自施設「内」の実践経験と、自施設「外」の研鑽経験がある。自施設内の実践経験は、チェックリスト等を用いた自己チェックと職場の上司や先輩による指導、助言、確認であり、自施設外の研鑽経験は研修や学会参加などである。後期研修も講義と実地研修から構成されており、講義には現行の現職者選択研修と新しい内容の現職者共通研修がある。現在、日本作業療法士協会のワーキンググループが新しい現職者共通研修の内容を検討、議論している。後期研修の実地研修も前期研修同様に自施設内外で行うことになる。既存の作業療法士は自施設の新しい作業療法士の実地研修の指導、助言、確認を行って頂くことになり、確認が出来る要件は日本作業療法士協会員且つ登録作業療法士である。次年度内に新たな学修制度についての説明会の開催を予定している。既存の作業療法士は是非参加し、生涯学修制度への理解を深めて頂きたい。

シリーズ能登半島地震 能登支部研修会『復興支援の今、これから一步を踏み出すために』

能登支部理事 永井 亜希子
(恵寿総合病院)

令和6年度能登支部研修会を2月8日(土)に開催した。研修会は、三部構成で行った。第一部は令和6年能登半島地震における県作業療法士会活動報告として、災害対策委員 東ひとみ氏、第二部は、復興リハ支援に従事されている富来病院 加藤孝之氏、能登中央訪問看護ステーション 森山恵子氏2名の方より現状の取り組みについて報告頂いた。第三部は、グループに分かれ、震災後様々な苦労を重ねてきた参加者同士で当時の経験談や苦難を乗り越え新たにできた仕組み、生活上の工夫などを短い時間ではあったが思い思いに話をし合う場、とした。

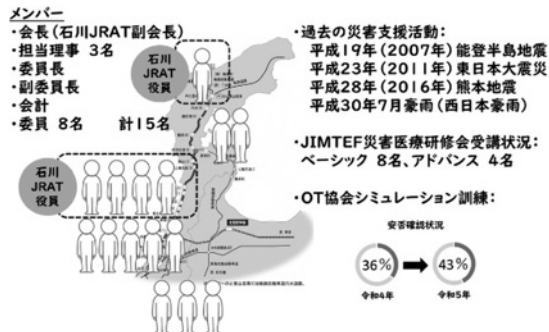
第二部の復興リハ支援は、①仮設住宅の住環境を整える、②仮設住宅に入居している人の生活を整える、③コミュニティの再建が行われている。志賀町は10団地393戸、能登町は16団地571戸の仮設住宅がある。環境調整では、限られたスペースで生活用具とのせめぎあいの中、どう安全に生活を送ってもらうか、OTの発想を巡らせ支援をされている。また、

コミュニティ再建に向け、自助・互助の意識を住民の方に付けてもらうような関りや、そのコミュニティに参加できない方をいかに出てきてもらうように対策を立てるか、どのように地域に根付いた活動の場にしていくかなどを他団体とも連携を図りながら活動をされている。今後もこれらが課題である、と聴講し知識を深めることが出来た。

第三部では、日ごろから心がけていることとして、水の備蓄・ガソリンを常に満タンにしておく・非常食に日頃から慣れておくなど、日常の変化などを肩ひし張らずに話し合いをして頂いた。今回の研修を通し、まだまだ自分にもできることはある、と感じた。そして、参加者の方も県士会活動や災害対策支援に携わる一步を踏み出すきっかけとなったのではないかなと思う。

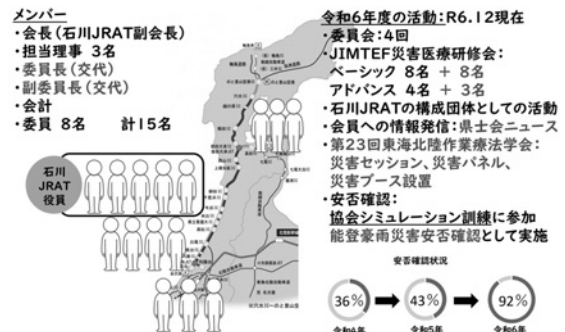
当初は、ハイブリッド開催を予定していたが、当日は震災後、一番の大雪となり急遽、ZOOM開催に変更した。参加者の皆様には急な変更にも理解を示していただき、感謝している。

石川県作業療法士会 災害対策委員会:発災前



※石川県HP: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nakanotopublic/notosatoyama/syokai.html>

石川県作業療法士会 災害対策委員会:発災後



※石川県HP: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/nakanotopublic/notosatoyama/syokai.html>

発災前後の災害対策委員会の状況について

災害対策委員会 活動報告 (令和6年12月20日以降)

◎令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害関連

- 1) 能登支部研修会(2月8日): 発災時からの活動報告
- 2) 理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会、各県士会長と県リハビリテーションセンターとの情報交換会: 第5回開催(1月28日)、次回3月開催予定
- 3) 石川JRAT研修会および幹事会(1月25日): 担当理事、委員4名出席
- 4) 石川県復興リハビリテーション支援事業: アクティビティセンターに会員1名を継続派遣

◎安否確認関連(令和7年2月9日現在)

県OT士会・災害LINEオープンチャット登録数 311名 143施設(自宅会員含む)

作業療法実践セミナー開催 「脳卒中リハビリテーションにおける予後予測と作業療法 プログラムの考え方」

身障医療部 朝里 浩靖
(金沢赤十字病院)

1月25日(土)に、石川県女性センターにて作業療法実践セミナーを開催した。今年度のテーマは「脳卒中リハビリテーションにおける予後予測と作業療法プログラムの考え方」、講師は臨床及び研究経験豊富な福島県立医科大学保健科学部の五百川和明先生をお迎えし、臨床に役立つ知識を幅広く3時間で講義いただいた。セミナー参加者は27名で新人からベテランまで幅広い層の参加があった。

講義は予後予測及び臨床研究の基礎から始まり、ADL・IADL・転帰先それぞれの予後予測関連の研究概観について教えていただき、作業療法プログラム立案として演習も行った。臨床研究の基礎から分かりやすく順にご講義いただいたことで、予後予測に必要な要素を学ぶだけでなく研究結果から得られる根拠のある予後予測の重要性を学ぶ機会となった。

参加者からは「予後予測は難しく曖昧な状態にして

いたが、今回具体的な指標を含めて考え方を学ぶことが出来大変勉強になった」、「敷居が高いと感じていた臨床研究の基礎を分かりやすく講義して頂いた」、「整容がIADL低下予防につながることを聞き、目からウロコでした」等の感想があり、今後の臨床に生かすことのできる有意義な研修となったと考える。



第33回石川県作業療法学会のご案内

次期学会長 千田 茂
(石川県立中央病院)

第33回石川県作業療法学会は令和7年6月29日(日)に開催する。第29回石川県作業療法学会より2日間の開催であったが、より多くの方々に参加して頂きたく、今回は短期集中で1日間の開催とした。

テーマは「作業療法の専門性と魅力 ～人々の生活を構築し、夢を叶える支援～」である。対象者の夢を叶え、喜ばれることこそ我々セラピストのモチベーションに繋がっている。そのためには課題を解決するための専門性やチームワーク、対象者との関わりが大切である。今回の学会ではそれらを包括的に捉えられるよう、専門的な支援と連携、生涯教育(学習)、業務の効率化の視点からシンポジウム、教育セミナー、特別演題を企画した。

学会特別シンポジウムでは幼少期に対麻痺となり社会人になるまでの専門的支援と連携について県内で活躍されている諸先生方に紐解いて頂く。

また、その専門性をより高めるため登録作業療法士や認定作業療法士等の新生涯学修制度について個別相談も含めて解説する。

さらに、対象者との関わりを増やすためにも業務の効率化が注目されている。このため、指定演題として介護施設でのICT・IoT導入促進や医療・介護DX、生成AI等での業務変革について演題を募集する。もちろん、一般演題はこれまで通りで分野は問わない。初めての方や経験の浅い方でも遠慮なく発表して頂きたい。演題募集の段階から相談に乗り、発表については認定作業療法士のアドバイスもあり安心して頂きたい。

今後、より専門的で魅力的な作業療法の提供を目指し、東海北陸や日本作業療法学会へのステップアップとするためにも、ぜひ積極的な参加を期待したい。

令和6年度臨床実習指導者講習会の開催報告

酒野 直樹
(金城大学)

1月25日(土)・26日(日)の日程で令和6年度厚生労働省指定臨床実習指導者講習会(石川県講習会)が開催された。今回も昨年度に引き続き、Zoomを使用したりリモート開催(拠点：金城大学)となった。講習会には県内の作業療法士27人、県外の作業療法士2人、県内の理学療法士1人の計30人が受講した。受講者の実務経験年数については6年以内が大半を占め、全体にフレッシュな顔ぶれとなった。Zoomを使用したりリモート開催は今回で7回目ということもあり、大きなトラブルもなく、無事に終了することができた。開

催に際し、尽力いただいた世話人の方々に感謝申し上げる。丸2日間というタイトな日程だが、子育て中の方や能登など遠方の方も無理なく参加できる点はリモート開催の大きな利点であろう。本講習会をこれまで多くの県内の作業療法士が受講しており、依然として石川県は全国平均よりも非常に高い受講率を誇っている。しかし、まだ受講していない会員も相当数いる。より良い臨床実習を実現し、優秀な作業療法士を育成するためにも、今後もより多くの方に受講していただきたい。



令和6年度認知症対応委員会研修会「認知症施策の今を知ろう」開催

認知症対応委員会 委員 今井 透
(公立能登総合病院)

令和7年2月11日(火)に研修会を開催した。講義は、「認知症施策等総合支援事業の目的と内容」をテーマに、石川県健康福祉部長寿社会課の辻野賢治氏にご講演頂いた。震災後の動向を含めた石川県の高齢化の現状、認知症に対する石川県や市町の主な取り組みについて、お話を頂き、良い学びの機会となった。また、認知症カフェ(今井)・認知症初期集中支援チーム(芳珠記念病院 合歓垣氏)・野々市市の認知症対策の取り組み(野々市市 寺尾氏)について、ミニレクチャーをして頂いた。本研修を聴講し、地域での具体的な作業療法士の活躍が理解できてよかったという感想もあり、認知症になってからも、1人1人ができること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができ

るような地域づくりに向け、多くの県士会員が活躍できればよいと感じた。



「キャリアアップ交流会」を開催して

管理運営教育部 委員長 五十嵐 満哉
(恵寿総合病院)

2月7日(金)に初企画となる「キャリアアップ交流会」をオンラインにて開催した。参加者はベテランから中堅、若手までと幅広い経験年数の6名の参加があった。キャリアアップと言っても個人によって価値観や理想は様々であり、また悩みも多岐にわたる。そこで、本交流会では、OTとしてのキャリアアップについて参加者同士で悩みや相談事の共有を図り、其々から経験談や考えを聞き、自身の今後のキャリアアップを進めていくうえでの参考になれば、との想いで交流機会をつくった。

参加者には事前に自身のキャリアアップに関する悩みなどについてアンケートをとり、仕事と家庭の両立に関すること、資格取得や後輩・職場への活か

し方が分からない、といった回答が寄せられた。そこで、以下の3つのテーマを設定しミニ交流の場を開いた。1つ目は「キャリア形成の仕方と自分の職場、後輩指導への活かし方」、2つ目は「子育て期間含め仕事と家庭のワークライフバランスの考え方・工夫」、3つ目は「資格取得について、OTスキルなど自己研鑽方法」である。本交流会が今後も同じ悩みや志を持つ者同士のコミュニティ作りのきっかけの場になればと願う。

次年度も、キャリアアップ交流会を開催予定である。ご自身のキャリアアップについて悩みや相談があれば、是非ともご参加いただきたい。

論文実績登録のお願い

石川県作業療法士会では、会員の学術実績登録を行っています。作業療法士にとって学術貢献は、未来の作業療法発展の重要な業務です。皆様の日々の研鑽を登録し、未来への貢献をお願い致します。

また総会の時に、その中から年間の優秀論文を表彰しております。

以下に示すURLより、論文実績等登録フォームにご入力下さい。

皆様の学術活動とその成果の蓄積を期待します。是非、論文実績登録をお願い致します。

論文等実績登録フォーム

<https://bityl.co/OfnC>



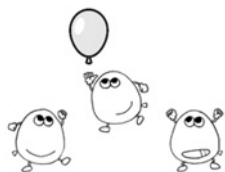
役員候補者選挙のご案内

令和7年5月の任期満了に伴い、公益社団法人 石川県作業療法士会定款第25条に基づき、選挙規定による役員候補者選挙を行います。

それに際し、理事(15名以上18名以内)・監事(2名)の立候補を受け付けます。立候補受付期間は、令和7年3月17日～3月30日(当日消印有効)です。理事選挙に立候補される方は、所定の届出用紙および選挙公報に掲載する意見等を、期間内に選挙管理委員会(〒920-8621 石川県金沢市小坂町中83番地 浅ノ川総合病院 リハビリテーションセンター 小浦 綾乃 宛)まで届出をお願いします。

詳細については、選挙公示または県士会Webをご確認下さい。

選挙管理委員会



リハビリテーション・スポーツフェス2024を終えて

企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)

今年度も企画部主催にてリハビリテーション・スポーツフェス2024を無事開催することができた。本大会は本会独自の大会である。障害をもたれた多くの方に「施設でも自宅でもどこでも、家族と仲間とスポーツを楽しむ」をテーマに「活動できる機会」を提供できるよう企画しており、今回で4回目の大会となる。今回、個人競技への参加者はのべ552名(こども部門2名、成人部門10名、シルバー部門207名、ゴールド部門337名)であり、団体競技は4名(シニア部門1チーム)、合計参

加者はのべ556名となり、とても多くの方に参加いただいた。今回は大会初のこども部門への参加があり、改めて参加頂いた参加者の方、またご協力頂いたスタッフの方々にお礼を申し上げる。また能登エリアの参加者の方も多く、生活が一変した中、楽しいひと時の時間を過ごして頂けたならば幸いである。次年度も同大会の開催を予定している。環境が変化し「私らしく暮らす」ことが難しい状況にある中、来年も本大会に参加頂き、皆様の笑顔で楽しい時間を過ごして頂きたい。

【優勝者の記録】

種目	部門	記録	
フライングディスク	成人部門	546cm	穴水ライフサポートセンター
	シルバー部門	770cm	エレガンテナぎの浦
	ゴールド部門	786cm	エレガンテナぎの浦
風船リフティング	シルバー部門	12回	在宅複合施設ほのぼの
	ゴールド部門	11回	在宅複合施設ほのぼの
スタッキングタワー	こども部門	19.52秒	恵寿総合病院
	シルバー部門	22.9秒	自宅
	ゴールド部門	19.41秒	自宅
ピンポンカップイン	成人部門	190点	自宅
		190点	穴水ライフサポートセンター
	シルバー部門	610点	金沢脳神経外科病院
	ゴールド部門	430点	エレガンテナぎの浦
		430点	金沢脳神経外科病院
団体競技	シニア部門	39.65秒	きじま在宅介護センター

【競技別延べ参加者数(個人競技)】

競技名	子供部門	成人部門	シルバー部門	ゴールド部門
フライングディスク	0名(±0名)	3名(+3名)	47名(+18名)	66名(-19名)
風船リフティング	0名(±0名)	0名(-1名)	4名(-30名)	4名(-22名)
スタッキングタワー	2名(+2名)	0名(-9名)	56名(-5名)	66名(-7名)
ピンポンカップイン	0名(±0名)	7名(±0名)	100名(-8名)	201名(+37名)



【個人競技・部門別参加率】

子供部門	成人部門 (20歳以上65歳未満)	シルバー部門 (65歳以上85歳未満の方)	ゴールド部門 (85歳以上)
0.4%	1.8%	37.2%	60.6%

能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

2月8日(土)大雪の為、研修会と事例検討会をWEBで開催。研修会は20名が参加し災害対策委員の活動報告、復興リハに従事する作業療法士の実働を拝聴し、能登の為に尽力下さる感謝の念とともに作業療法士だからこそその強みを復興に活かされていると感動した。参加者同士も発災から今までの自分たちの想いを語り合える時間があり、内容の濃い研修となった。事例検討会は15名が参加、2事例を検討し発表者にも次の学会へ繋がる有意義なものとなった。次年度もより多くの皆様に足を運んで貰えるような支部活動にしていきたい。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

2月9日(日)の第3回事例検討会は交流会も予定していたため顔の見える会を期待していたが、あいにくの大雪によりやむなくオンラインでの開催となった。運営スタッフ並びに参加された方々におかれては急な変更に対応していただき感謝する次第である。オンラインでの交流会であったが、県外から入職した会員のためにおススメのお店を全員一丸となってプレゼンする場面もあり、この会のあたたかさを感じることができた。次年度の交流会は天候に配慮し8月を予定しているので是非とも意欲的に参加されることを期待する。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

12月11日(水)に第2回事例検討会を開催した。今回は、3事例の報告があり、回復期病棟入院の方への作業療法や在宅の方への作業療法の報告もあり、多様な報告でとても興味深かった。ミニ相談コーナーでは、「排泄動作の評価と練習」をテーマにグループでざっくばらんに情報を共有した。病棟で多職種の理解を得ながら作業療法を進めていくコツなど、教科書や研修会では聞けないことを聞く機会となったと思う。来年度の第1回事例検討会は、6月4日(水)交流も目的に对面での開催を予定している。

金沢東支部

公立河北中央病院 市川 翔悟

2月7日(金)に第3回事例検討会が開催された。当日は天候不良によりハイブリッド形式からWeb開催へと切り替えられたが、4事例の事例に対して普段と変わらず活発な意見交換がなされた。また、金沢大学附属病院の仁木氏より心不全の症状であるBendopneaについてレクチャーをいただいた。新たな知見を得られるのも、事例検討会のよいところであると感じることができた。

次年度の支部活動も会員の皆様のご協力をいただきながら運営を行っていききたいため、是非一度足を運んでいただきたい。

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第5回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和7年1月17日(金) 19時00分～21時30分 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：東川、桂、合歓垣、麦井、菊池、堀江、東(以上会場)、米田、中森、種本、永井、酒野、加藤、高多、鈴木、(理事15名)、市川、小川(支部長2名)(以上Zoom)、欠席理事：坂下、村井、越田、欠席支部長：西村、長原、書記：山本(Zoom) 濱岸(会場)
3. 議事 【審議事項】
【令和7年度事業計画・予算】
《執行部》組織建ての見直し、定款・規程の見直し、部の統合
《事務部》入会、休会届等、WEBでの申請も可能とする。
《管理運営教育部》キャリアアップ交流会の実施、キャリアアップに励んでいる会員を表彰する。キャリアアップ相談窓口を継続
《企画部》スポーツフェスに注力してほしい。風船バレーバレーボール大会は開催しない方向。
《広報部》取材や編集等の会議費扱いを日当費扱いにするよう提案する。部員の成り手不足については、具体的な解決案がないため、このまま継続をお願いする。県士会ニュースを各都道府県士会に送付しているが、送付を中止してHPで閲覧していただく。
《地域保健福祉部保健/福祉》保健と福祉を統合して理事を1名増やす。市町の事業に関わるスタッフをバックアップする活動をして欲しい。現在の市町事業に関わっているリストを県リハと共有させていただき、ネットワーク作りを提案する。
《福祉機器部》自助具の使用具合の調査や事例集等の作成を提案する。協会に対しては、生活行為工夫情報システムの事業そのものの継続を打診してみる。
《精神医療部》発達とのコラボ研修などをどんどん進めて欲しい。
《発達障害支援部》この通りの企画で実施してほしい。
《身障医療部》老年医療部と併合する。ハイレベルな研修を企画していただいているが、臨床実習の方法が変更となっているため、基礎的な内容として、移乗やリスク管理などのテーマでも実施してほしい。
《学術部》紙媒体の雑誌を今後どうするか。オンラインで契約しているため、紙媒体をなくすことはできる。
《MTDLP推進委員会》基礎研修・事例検討会は協会の事業なので、県の補助金の使用が難しく、財源的にも厳しい。隔年開催か北陸3県での持ち回りを提案したい。県士会単独で開催であれば、隔年開催。毎年開催なら、北陸3県での合同開催を提案する。北陸3県の合同事例検討会であれば、両県からの参加者が見込めるのと、予算を軽減できる。
基本的に、現職者選択研修とMTDLP基礎研修は、例年通り開催して欲しいとの要望がある。
MTDLP基礎研修はグループの人数を増やしてファシリテータの人数を減らしてはどうかと提案あり。
《運転と作業療法》名称変更の提案があるが、将来的には、地域保健福祉部もしくは福祉機器部の一部になると考えている。
《金沢東支部》開催場所を変えてみることを提案する。認定OTのミニレクチャーは継続し、他支部も参考にして欲しい。
《金沢西支部》新人の発表が多く、中堅の発表が少ない。中堅の発表は新人にとって参考や励みになる。
東支部のミニレクチャーのように支部運営に関わっているスタッフを積極的に活用するのも一つの方法。
4つの支部の共通課題として、発表者が少ないこと、参加者が固定化しているという問題点がある。開催場所を変える、年度の発表者が少ない時期は、オンラインのメリットを活用し、4支部合同で年1回開催するなど検討して欲しい。
《認知症対応委員会》県士会員からどのようなニーズが挙がっているか調査すること、当事者からのニーズも必要ではないかとの意見があった。
《災害対策委員会》発災時の対応マニュアルの作成は、他士会のものを当会用にアレンジするなど効率化すれば良い。
情報共有については、登録者を引き続き募集していく。委員の増員については、各支部に配置する構成にして欲しい。
【各部からの審議事項】
《財務部》慶弔規程について：見舞金制度が含まれていない。上限10,000円となっているが、電報等も含むため、30,000円としたい。 継続審議
支出の根拠書類として出張を伴う場合の報告書、会議の場合は議事録を提出してほしい。 承認
《管理運営教育部》キャリアアップに励んでいる会員(研修を一番受講した会員)を表彰したい
5月の表彰式での表彰、懇親会への招待はいかにか。 継続審議
《広報部》県士会ニュース134号の割付案について、震災関連は2ページ目としてシリーズ化する。 承認
《災害対策委員会》県復興リハビリテーション支援事業への協力について、県士会としての支援を検討したい。
会員16名が協力可能と意思表示があった。年度途中で新しい事業を行うことは県医療対策課に説明が必要。
来週県リハとPOS士会会長の情報連絡会がある。会での連絡内容を確認後に再度検討する。 保留

【報告議案】

各部、委員会からの報告があった。

インフォメーション

令和7年度 会費納入についてのお知らせ

会費納入の方法が変わります！

詳しくは別途案内を令和7年3月中にお送りする予定です。

お問い合わせは財務部まで、メールでお願いします。

メールアドレス：zaimu.ot.ishikawa@gmail.com

《事務局からお願い》

令和6年度会費未納の方は速やかに入金をお願いします。

令和7年度 公益社団法人 石川県作業療法士協会総会(予定) ～表彰式典・新人歓迎会～

日程：5月24日(土)

場所：KKRホテル金沢

〒920-0912 石川県金沢市大手町2-32

TEL 076-264-3261

※状況によっては変更あり

大学院で学んで 保健・医療・福祉、教育の リハビリテーション関連領域の リーダーを目指しませんか

多分野融合型の教育・研究体制
働きながら学べるオンライン遠隔講義や
昼夜開講制度、長期履修制度
授業料や奨学金制度など
経済的負担にも配慮



金城大学
KINJO UNIVERSITY

総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

詳細は本学HPを
ご確認ください



〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
電話 (076) 276-4400 (代)

あらゆる人々が輝く社会を
実現するために
サンウェルズは
進化と変化を続けます。

SUNWELS

全国に続々展開中！
パーキンソン病専門ホーム PDハウス

1 専門医監修の リハビリプログラム	2 脳神経内科医師の 訪問診療	3 お客取りまで対応 24時間訪問看護体制
-----------------------	--------------------	--------------------------

全国で
続々展開中！
HPに＜随時発表＞

■ 石川県 PDハウス白山 2018.06 OPEN PDハウス小坂 2018.12 OPEN PDハウス鶴江 2023.04 OPEN PDハウス戸部 2023.04 OPEN	■ 新潟県 PDハウス新潟紫竹山 2024.10 OPEN 予定
---	-------------------------------------

And More...

■ 富山県
PDハウス秋吉 2022.10 OPEN

株式会社
サンウェルズ

入居・お問い合わせ窓口 | 受付時間 9:00～17:00
0120-540-367

※お申し込みはコチラから

※お申し込みはコチラから

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

栗津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会
社会福祉法人寿福祉会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

有限会社 さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員
登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいた
メールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード▶



会員数

会員数 852名(令和7年2月12日現在) 賛助会員 45施設・企業

認定作業療法士43名(令和7年2月12日現在) 専門作業療法士 3名(令和7年2月12日現在)

編集後記

能登半島地震より1年が過ぎ、今年の元日は、何もないことを祈る様に過ごした。

自分たちに何ができて、何ができなかったのか、反省と検証が続く毎日でもある。ボランティアに登録もし、今も能登へ支援に行っているが、復興の道のりが遠く感じられるのは私だけであろうか。他県の集会等に招かれて話す機会もあるが、他県にない問題点も多く、まだまだ課題は多い。本号より「シリーズ能登半島地震」の連載も始まり、震災の影響を受けている会員に向けても発信を続けていきたいと考える。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、永井亜希子、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、
北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社